

# AOI国際病院キャリアラダー（コンピテンシーモデル）

ラダーレベル		あおい	I	II	III	IV
能力全体のレベル毎の定義		必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	複雑な状況において創造的な実践を行い、組織横断的に参画する
能力	能力の構成要素					
専門的、倫理的、法的な実践能力		法的・倫理的基準に沿った行動をする	法的・倫理的基準を守りながら責任ある行動をする	法的・倫理的判断に基づき対応し、必要時他者へ共有を行う	チームの法的・倫理的課題に自ら関与し、助言やサポートを行う	チームや組織全体の法的・倫理的課題の改善に貢献できる
	アカウントビリティ	指示や助言を受けながら、自身の役割と責任を理解し、指示通りに行動する	指示を待たずに標準的な業務を誠実かつ責任感をもち自立して行い、業務の結果や状況を適切に報告・共有する	自分の業務範囲を理解し、優先順位を考え、課題を見つけ、他者から信頼されるような誠実な態度で業務を行う	困難な状況でも誠実な対応を続け、信頼を保ち、責任の所在を明確にした業務調整を行い、メンバーの責任ある行動を支援する	チームや組織から信頼される誠実なリーダーとして振る舞い、全体の最適化に責任をもって取り組み、他者の模範となる
	倫理実践	自己判断はせずに指導を受けながら、倫理指針に沿った行動を心がける 基本的な挨拶や敬語を守り、相手の話を傾聴する	標準的な倫理的配慮を持ち、わかりやすく意図が伝わるコミュニケーションを心がけ、倫理的基準に基づいて自己判断する	迷う場面でも自ら根拠をもって判断し、倫理的リスクの把握と誤解のない円滑な対話を行い、対応策を提案する	難しい課題に対してもチームの倫理的判断を支援し、未然防止への助言や合意形成、働きかけを行う	組織の倫理的な課題を考え、倫理意識を高め、より良い環境づくりに貢献する
	法的実践	法的基準を学び、自己判断はせずに指導を受けながら業務に適用する	業務に必要な法的基準を遵守して行動し、必要に応じて相談しながら法的リスクを回避する	法的リスクを把握し、未然予防と対応を行い、チームの法的問題を把握・報告・対処する	チーム内で法的な判断をサポートし、指導・助言を行い、法的リスクを評価し、改善策を提案する	チームや組織の法的リスクを予防し、より安全な業務環境を考える
専門領域における実践能力		指導のもとで、基本的なケアを実践する	相手の状況に応じて、自立してケア提供を実践する	相手の個別性に応じた柔軟なケアを実践する	チームと連携し、予測的な判断をもってより高度なケアを実践する	専門性を活かし、組織全体のケアの質向上に貢献する
	ニーズをとらえる力	挨拶や基本マナーを守り、相手のニーズを観察・把握し、指導のもと情報を整理して記録できる	挨拶や基本マナーを守り安心感につながる対応を行い、その上で相手のニーズを把握し、根拠に基づいた判断・対応を検討する	日常的に相手の気持ちに寄り添い、信頼関係を形成し、目的に応じた情報収集と、優先度や状況によりケアの工夫・調整を行う	相手の潜在的なニーズを把握・分析し、多職種と連携しながら予測的な対応を行い、困っている同僚には適切なアドバイスを行う	包括的なニーズ把握を指導・支援し、多職種の模範となる適切なコミュニケーションを図り、データ活用など新たなアプローチを提案・検討する
	ケアする力	指導を受けながら、安全に思いやりのある態度でケアを実践・対応する	相手の気持ちを尊重しながら標準的なケアを自立して行い、相手の状況や反応により、ケアの調整をする	相手の状況に合わせたケアの選択を行い、予測的にケアの必要性を判断し、先回りした対応を行う	チームと連携し、変化を予測した適切なケア戦略を考え、指導・実践によるチームのケア向上へ取り組む	ケアの質向上に向けた指導や、ケアマネジメントをエビデンスに基づいて行い、改善策を実践に落とし込める
	意思決定を支える力	礼儀正しい誠実な対応を心がけ、相手の気持ちを受け止め、一緒に考えられる	相手や関連する周囲の人々に敬意を持って対応し、意向に応じて標準的な情報提供や説明を行う	相手の理解度や心情を理解し、意向に合わせた情報提供や説明をわかりやすく丁寧に行う	相手に安心感を与える対応を行い、複雑なケースにおいても多職種と連携し、適切に意思決定プロセスをサポートする	チームや組織における意思決定支援体制やプログラムの構築・改善、接遇品質の向上に関わり、教育・指導に携わる
	協働する力	基本的な挨拶や声かけを行い、指導を受けながら、チームメンバーと情報共有し多職種と関わる	チームメンバー・多職種の意見や気持ちを尊重し、適切なタイミングで情報共有や声かけを行う	状況を的確に判断し、情報共有の優先順位をつけ、チームメンバーや多職種の意図をくみ取った調整を行い、良いケアやサービスを提供する	チームや多職種が円滑に連携できるよう、寄り添い共感しながら調整役を果たし、メンバーサポートを行う	チームや組織のコミュニケーション改善に寄与し、相手の立場に立った仕組み作りへ積極的に関わる
マネージメント能力		助言を受けながら業務の流れを理解し、決められた役割を果たす	自立して業務を遂行し、優先順位を考えながら行動する	チーム内の行う分担を意識し、業務の効率化を図る	チームの目標達成をサポートし、業務改善の提案につなげる	組織の方針に基づき、チームの成長と業務の質向上を促進する
	業務の委譲/移譲と管理監督	指示・指導を受けながら業務を遂行し、業務進捗を報告する	計画的に標準的な業務を自立して行い、業務の進捗を適切に（報告・調整・他者への依頼）管理する	業務の優先順位を考え、効率的にタスクを遂行し、適切なタイミングで業務移譲と成果の確認を行い、業務課題の対策を検討する	チームの業務状況を把握し、メンバーの能力を考慮して適切に業務を委譲・調整し、指導・監督・進行状況の定期的な確認を行う	チームや組織の業務分担を見直し、効率化・最適化を図り、業務パフォーマンスの改善を行う
	安全な環境の整備	指示を受けながら、安全対策を実践し、指導のもとリスク対応を行い、学習を進める	安全管理の基準を理解・遵守し、自身の業務に関する安全教育を受け、標準的なリスク管理を実践する	チームの安全管理を考え、リスクを予測して未然防止対策を実施し、他のメンバーへ安全意識を高める働きかけを行う	チームや組織内のリスクアセスメントを行い、安全対策をリードして安全研修を企画・実施し、環境改善を推進する	チームや組織の安全管理体制を強化するため、後輩の安全意識を育て、持続可能な改善策の提案や策定を行う
	組織の一員としての役割発揮	指導やサポートを受け、周囲の助言を受け入れ協力しながら業務を進める	組織の一員としての意識を持ち、他のメンバーと円滑に協力し、チーム目標に向かって貢献する	チームの目標達成に向け、自ら課題を見つけて取り組み、メンバーの困りごとに対しても適切にサポートする	チームや組織の目標達成にメンバーを巻き込みながら貢献し、課題解決に向けリーダーシップを発揮する	チームや組織の発展に向けたプロジェクトや組織力強化に貢献し、チームビルディングをリードする
専門性の開発能力		指導を受けながら専門的な知識を学び、実践に活かす姿勢を持つ	自立して学びを継続し、自身の業務を改善する	自身の学習成果を業務に活かし、他者への助言を行う	チームメンバーの学習を支援し、教育的な役割を果たす	専門性を活かし、組織の人材育成や質向上に貢献する
	専門性の強化と社会貢献	指導を受けながら、専門的な知識・技術・社会的役割について学ぶ	主体的に学んだ知識を業務に活かし、自分の業務が社会貢献に繋がることを理解し対応を行う	最新の知識・技術を取り入れ実践に活かす 地域の社会活動に参加する	チーム内で専門的な知識を共有し、実践レベルの向上に貢献する 地域の健康課題や社会問題に対し、積極的に関わる	チームや組織の教育活動に積極的に関与し、学習機会を提供する 専門的な立場から、社会の健康増進や政策活動に参加する
	実践の質改善	指導のもとで、自身の業務の振り返りを行う	エビデンスに基づいた業務実践を行い、自らの業務を振り返り、自分の失敗やミスを認め、改善点を見つける	チーム内で業務の課題を見つけ、改善策を提案し、文献や研究結果を基により良い実践につなげる	チームや組織の実践の質向上を意識し、エビデンスに基づいた実践を推進すると共に、研修やマニュアル作成に関わる	チームや組織の質改善のため、プログラム改善や指導、他施設との協力や研究活動に関与し、実務改善につなげる
	生涯学習	指導のもとで学び続ける姿勢を持ち、知識を深め、自己の課題を認識する	主体的な学びを業務に取り入れ改善し、自分の成長のために、計画的に学びを進める	周囲からのフィードバックを謙虚に受け止め成長に活かし、組織やチームの目標に応じた学習を深め、実践や業務改善に活用する	教育や研修・研究の場で新しい知識を活かし、学習機会を提供することで自己成長の機会とし、同時にメンバーの成長も支援する	チームや組織の教育方針を理解し、組織の教育・学習環境の構築に模範的に関わる
	自身のウェルビーイング向上	自身の健康管理に関心を持ち、適切な休養をとる意識を持つ	自分の健康状態を適切に管理し、自分の業務環境を整え、安全で快適な作業ができるよう工夫する	ストレスマネジメントやワークライフバランスを意識し、健康的な働き方を実践する チームの職場環境改善に向けた取り組みに参加する	チームや組織の働き方改革に関わり、メンバーの健康維持やワークライフバランスへ配慮したサポートを行う	職場の健康支援に関与し、より働きやすい環境づくりや働き方改革、ウェルビーイング向上に貢献する